

回答率：評議員100%、保護者93.0%、児童100%、教職員100%

### 学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。		子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	
考察 【1】校長講話、学校便り、PTA総会、学級懇談会及び学校HP等で周知した結果、保護者の肯定的回答率（「4 そう思う」「3 どちらかといえばそう思う」の合計）は昨年度並の高い数値であった。児童についても昨年度に比べポイントが上昇しているのは、学級での繰り返しの指導と終業式での振り返り（反省）と始業式での目標設定の成果だと思われる。 【2】肯定的回答率は、児童、保護者、評議員及び教職員すべてで高い数値を示している。この状況を継続できるよう、今後も「分かる」、「できる」喜びを味わわせる指導を工夫したい。 【3】保護者の肯定的回答率が、昨年度に比べ若干低下している。すべての教育活動において組織的に取り組むことを意識していきたい。					

### 教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度	考察 【4】児童と保護者の肯定的回答率は高い数値であるが、教職員の「4 そう思う」の回答は0ポイントであった。確かな学力の育成に向け、教職員で授業力向上のため切磋琢磨し、自信をもって教育活動を進めていきたい。 【5】「4 そう思う」の回答率が教職員と児童、保護者との間でギャップが見られた。教師の魅力ある授業づくりの推進と、児童が目標を持って、意欲的に授業に取り組めるような工夫をしていきたい。
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。		

### 道徳教育 心の教育について

6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行	考察 【6】肯定的回答は、教職員、児童及び保護者とも昨年度と同様、高い値を示している。今年度から全面実施された「特別の教科 道徳」（道徳科）及び熊本地震関連教材「つなぐ」の指導の充実、さらに、家庭（日常的な会話等）と地域（体験的活動の充実等）と学校の協同による心の教育を推進していきたい。 【7】肯定的回答は昨年度並みで、教職員、児童、保護者とも高い値を示している。しかし、「4 そう思う」の回答は、児童に比べ、教職員などは低い値を示し、ギャップが生じている。児童の評価のみならず、周りからも評価されるよう、家庭と連携し、地域での挨拶を指導したい。
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に努めていると思いますか。		子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。		

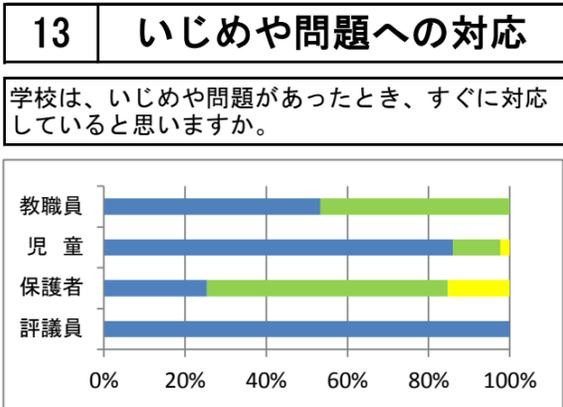
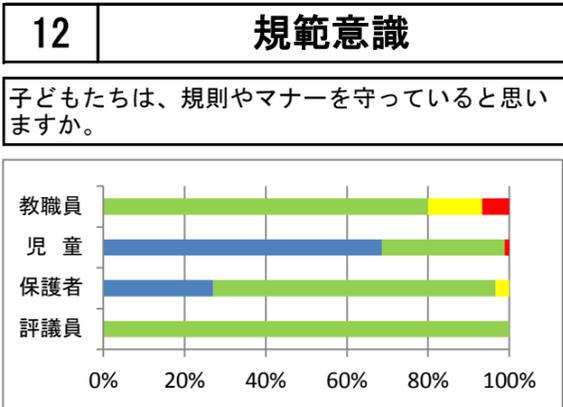
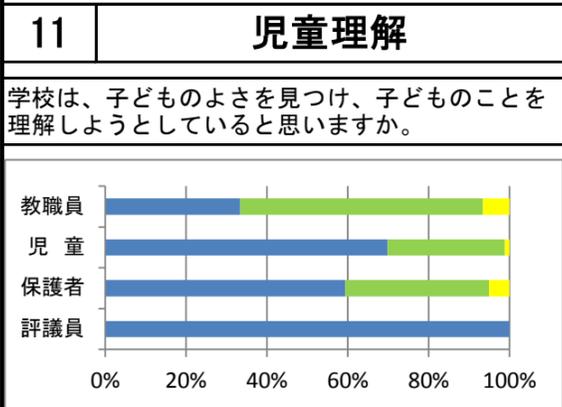
### 人権教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友だちへの思いやり
学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。		子どもたちは、友だちとなかよくしていると思いますか。	
考察 【8】保護者の肯定的回答率が、昨年度に比べ約5ポイント減っている。全職員による児童理解を強化し、より丁寧で一人一人に応じた指導を心がけたい。また、保護者との連携を密にし、相談体制の更なる強化や関係機関との連携にも努めたい。 【9】肯定的回答率をみると、すべての対象で90%超であるが、児童とその他の対象ではギャップが生じている（児童が高い）。周りからも同様の評価がされるよう、今後一層、道徳教育や人権教育の深化、日常での機を逃さない指導を徹底したい。また、多くの情報を共有し、家庭や地域との連携を密にしなが、心の醸成を深めていきたい。			

### 学校行事について

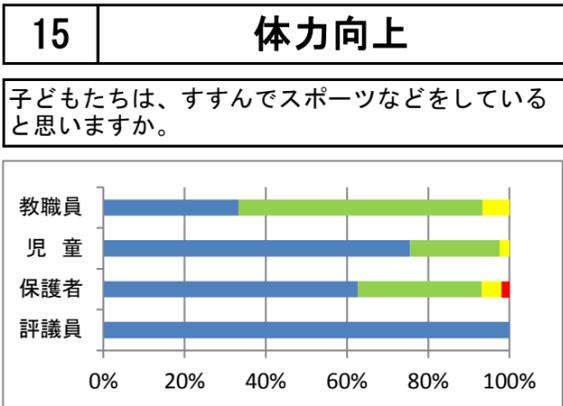
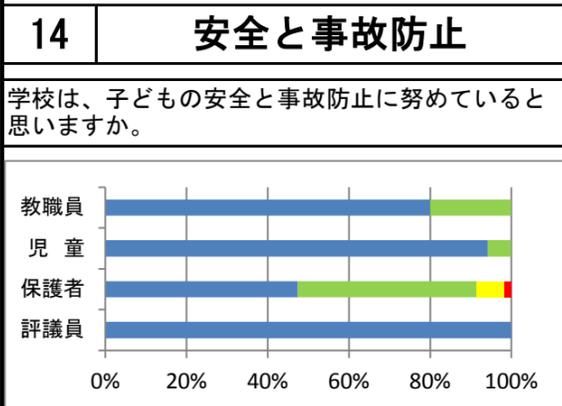
10	学校行事等の工夫
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。	
考察 【10】今年度は運動会の順延による単独開催、タイムトンネルの実施方法の見直し、親子餅つきの衛生管理の強化などあったが、保護者の肯定的回答率も昨年度並であり、大変ありがたい。本校行事等の工夫に対する理解度の高まりと考える。また、新聞等による広報活動も功を奏していると思われる。	

## 生徒指導 教育相談について



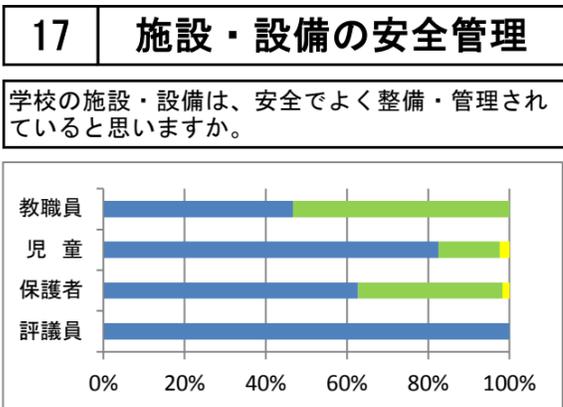
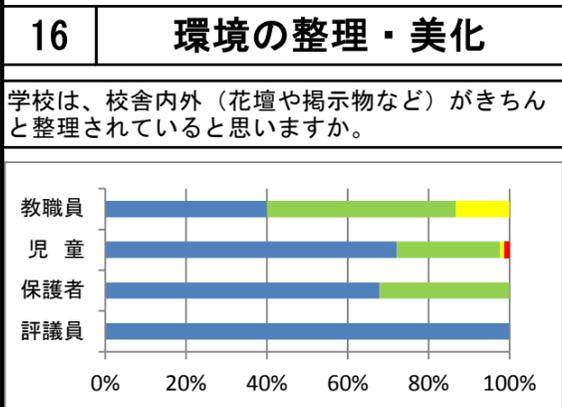
**考察**  
 【11】保護者の肯定的回答率は昨年度並みで、3年連続で上昇したことから、子どもの良さを直接的対話や通信等で保護者へ伝えた成果だと考える。しかし、保護者の「4 そう思う」の回答率が60%であることから、この数値を伸ばすために、今後一層児童理解に努め、児童の良さを発見していきたい。  
 【12】「4 そう思う」の回答率（※児童以外）が、他の質問項目に比べ、若干低い値を示している。規範意識の高揚やマナーの向上は、学校教育のみでは効果が薄い。学校は、家庭や地域との連携を密にし、指導の方向性を示しながら、協力して取組を推進したい。  
 【13】保護者の肯定的回答率が、昨年度に比べ、約10%減少している。今後、未然防止や早期発見（年4回のアンケート調査や日常的な児童観察）、早期対応（個人面談や教育相談実施）、チーム対応（関係機関等と連携）などを徹底したい。

## 健康教育 安全について



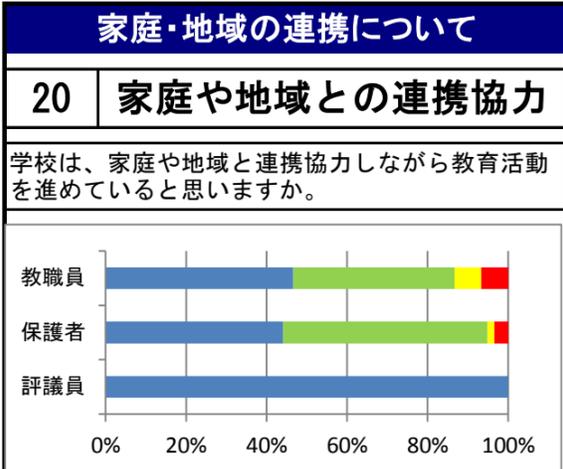
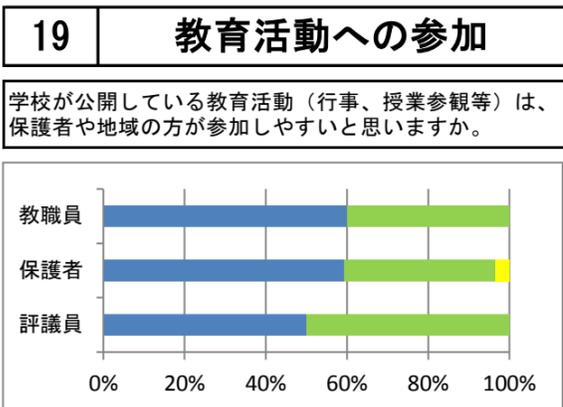
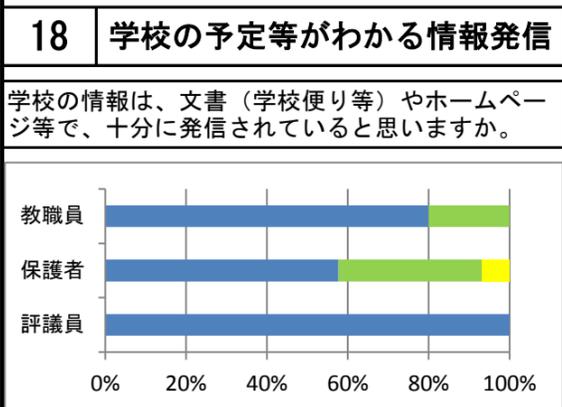
**考察**  
 【14】学校はすべての児童において、安心・安全であるべきである。保護者への理解を深めるため、今後、交通安全教室や集会等での一斉指導、各学級での継続指導の他、コミュニティ・スクールの一環で、保護者や地域の方々と連携した交通指導等を強化したい。  
 【15】肯定的回答率が、昨年度同様、高い数値を示している。次年度は学校部活動が廃止になることもあり、外遊びがなくなる環境整備や児童会主催の始業前のランランタイム、なかよしスポーツを継続しながら、今後も体力の二極化の是正に努めたい。

## 学校環境について



**考察**  
 【16】肯定的回答率は昨年度並で、高い数値を示しているが、教職員の数値が若干低くなっている。朝のボランティア活動や花壇の整備、校内掲示板の有効活用についてまだまだ不十分だと捉えているようだ。更なる環境の整理・美化に努めていきたい。  
 【17】肯定的回答率は昨年度並で、高い数値を示している。定期的を実施している校内安全点検の徹底や日常的な危険箇所の察知等の成果と考える。学校はすべての児童にとって安全であるべきなので、保護者の声にも対応しながら安全管理に努めていきたい。

## 情報の公開・発信について



**考察**  
 【18】保護者の肯定的回答率は昨年度並であった。学校ホームページで行事等予定や児童の様子等を随時掲載したり、各種便りやPTA新聞等で様々な情報を発信したりした成果と考える。今後も保護者の要望を取り入れながら、一層魅力あるものを作り周知したい。  
 【19】昨年度の反省を踏まえながら、学校行事やPTA行事を実施している。今年度からの新たな取組もあるが、PTA役員の方々と連携し、保護者等のニーズに対応したことで、昨年度並みの肯定的回答率となった。今後も児童の活動を中心に考えると共に、なるべく多くの方のニーズに応えたい。  
**考察**  
 【20】地域社会に開かれた学校づくりを目指し、様々な教育活動を行っているが、否定的回答も教職員、保護者ともに見られる。学校が地域に求めるものと、地域のニーズをすり合わせながら、一人一人が課題意識を持って、「地域（家庭）とともにある学校づくり」に取り組んでいくことが大切

### 3学期の具体的な取組について(2学期否定的な回答が多かった事項を中心に)

- 道徳教育、心の教育の充実（「ありがとう」の響き合う学校）
- あいさつ・返事の励行（「あいさつ」の響き合う学校）
- 規範意識の醸成（学校内ばかりでなく、実社会においても通用する規範意識の育成）
- いじめや不登校、問題行動への対応（「いじめは絶対に許されない」心と態度の育成。いじめ・不登校に対する専門機関との連携の強化）
- 体力向上（体力の二極化の是正。ランランタイム、なかよしスポーツの充実）
- 家庭や地域との連携協力（学校評価を年2回実施し、結果を学校運営に生かす。）